

2級 【パターン】 傾向と対策

1. 作図・パターン展開

<身頃>

- ・展開線が記入された原型やあらかじめゆとり分量や肩パッド分量が展開されている原型、使用不可の袖原型等を誤って持参した受験者がいたが、原型を準備する際には注意すること。(ガイドブック・受験案内 P6 参照)
- ・課題のシルエットは、3面構成のパネルラインのジャケットである。原型のバストダーツを衿ぐりや袖ぐりに適正分量分散し、残りのダーツはウエストダーツを利用しマニピュレーションで処理するが、衿ぐりや袖ぐりへの分散が適正でないものがあつた組んだ際によくシルエットを確認し、分量の調整をすること。
- ・3面のパネルラインの切替え線位置は、脇に縫い目線がない分、脇に寄つた位置に入れる。脇身頃のパーツとしての大きさも考慮すべきである。
- ・マニピュレーションの展開位置は、ウエストダーツからポケットの縫製時に切り込まれる線に向かって展開する。今回は箱ポケットのため、箱布付け位置を決め、そこから縫い代分(0.5cm~1cm)上がったところに展開線を引き、展開をする。しかし付け位置に展開してしまいトワル組み立ての時に、切り込みが見えているものが多くあつた。大幅な減点となるので今一度復習していただきたい。
- ・構造線を入れるとき、ウエストが角張っていたり、カーブが不適切に引かれているものがあつた。本来はスムーズな線で繋がなければならない。
- ・肩幅に対して背幅が狭いものなど、肩幅と背幅の関係が不適切なものがあつた。肩幅と背幅の関係が不適切であるとアームホールの形状を崩し、結果的に袖に影響しシルエットも崩れてしまうので注意する。
- ・イセの入る縫い目線には合い印をいれてイセる箇所を指定しなければならない。また、縫い止まり位置やウエストやネックポイントの位置などポイントになる部分には合い印を適切に入れる。
- ・裾やネックライン、アームホールなどライン修正されておらず、シルエットに影響しているものがあつた。トワルの組み立て前に修正をし、設定どおりのジャケットが組めるようにしていただきたい。

<ボタン、ポケット>

- ・ダブルブレストの持ち出し幅、ボタンの位置や箱ポケットの位置、大きさがデザインに合わないものがあつた。デザイン画をよく見て、大きさや形状・つけ位置などバランスよく記入する。
- ・ポケットのつけ位置もトワルに移す前につながりや長さの修正をして、正確につけていただきたい。

<ラペルと衿>

- ・衿の作図法は様々あるが、後ろ中心での衿腰と衿幅の関係や衿付け線と外回りの関係が悪いため減点されたものも多くあつた。今一度、衿の作図を復習していただきたい。
- ・衿先のきざみのバランスも絵型を見てよく吟味しておくこと。

<袖>

- ・袖の製図には様々な方法があり、身頃の袖ぐりに対して適当な袖山の高さを決めるべきである。また袖山の高さは袖幅にも影響するのでその事も考慮し、設定すること。また、袖山のイセ分量が多すぎ

たり寸法が不足していたり、袖山の形状が不自然だったりするものが目立った。

- ・袖山のカーブの形状も付けた時の袖の振りや形状に大きく影響する。身頃のアームホールにあった袖山形状を身につけていただきたい。
- ・袖口寸法もジャケットとしての許容範囲に設定し、バランスよく作図する。
- ・2枚袖の切り替えも縫い目として、袖の形状として適切なカーブで描かれていなければならない。事前の練習が必要と思われる。

2. 提出用ファーストパターン

- ・ファーストパターンは各パーツ別々にトレースをして、必要な記号などを記入することで確実に点数を取れるようになったと思われる。
- ・ファーストパターンは規定寸法の範囲内であり、課題のデザイン画のバランスを読み、形よく構成されていることや全体としてのバランスと部分的な形状が模範解答に近く、縫い目線の形状やつながりが縫製時を設定して考えられていることも大切である。また、鉛筆の線が一定した太さと濃さで描かれていることも重要である。線が蛇行しているものなど2級の完成度に達していないものが多かった。
- ・課題に設定された着丈や袖丈などの規定寸法や条件に関する説明を再確認し、要求されている記入事項として名称・地の目・記号・合い印・ボタンなどが記入されていること。衿、ポケットなど、必要なパターンが全て揃っていること。特に、パーツパターンの描き忘れや、切り離れたパターンが紛失しないように、最終的な確認を確実に行っていただきたい。

- ・最後に、ファーストパターンとは作図パターンを別紙にパーツごとにトレースして寸法の確認や縫い目のつながりが修正され、名称、記号、合い印等、必要な事柄を書き入れたものをいい、ファーストパターンが最終提出パターンになる。ただし、フラットパターンメイキングで作業を行った場合は展開した原型や作図、展開パターンの添付も必要である。